

専門委員会開催報告

専門委員会名	第10回「将来原子力システムのための再処理技術」研究専門委員会
開催日時	2019年12月2日(月)13:00~17:00
開催場所	電力中央研究所 大手町地区 733 会議室
参加人数	18名 鈴木主査、他
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主査挨拶 2. 企画セッションについて 第9回委員会を兼ねて行った再処理リサイクル部会夏季セミナーの議論をさらに深める方向で検討中なことを報告した。 3. 講演:「軽水炉燃料の高燃焼度化への取組み」(原子燃料工業:谷口良則氏、大脇理夫氏) 軽水炉燃料の高燃焼度化への取組みの状況に関して、BWR 燃料及び PWR 燃料それぞれについて紹介頂いた。 4. 講演:「原子炉と核燃料サイクルの将来像」(東京都市大学:高木直行教授) 理想的な原子力システムが満たす要件、特に環境負荷、核不拡散、資源有効利用の観点から核燃料サイクルの将来像に関して講演を頂いた。さらに熔融塩炉およびトリウム原子炉について、その特徴や開発状況を解説頂いた。 5. 講演:「高温ガス炉燃料技術の概要」(日本原子力研究開発機構:佐藤博之氏) 高温ガス炉の概要および高温ガス炉燃料技術の概要を紹介頂いた。
備 考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	第9回「将来原子カシステムのための再処理技術」研究専門委員会
開催日時	2019年8月20日(火)～8月21日(水)
開催場所	青森原燃テクノロジーセンター 第5,6研修室
参加人数	49名 鈴木主査, 島田幹事, 他
議 事	<p>1. 全体概要</p> <p>第9回 専門委員会は、若手技術者や学生を中心に将来の原子燃料サイクルと再処理技術の在り方などについて議論を行うため、第3回 再処理・リサイクル部会 夏季セミナーと合同で開催した。</p> <p>2. 日本原燃サイト 見学</p> <p>原燃サイトでは、PR 館で核燃料サイクル全体の説明と再処理に関わる設備の模型を見ることにより、学生に再処理に関する理解を促した。また、新規規制基準対応など現在の再処理の現状についても理解を促した。</p> <p>3. 講演:「原子燃料サイクル施設の現状」(JNFL:駒嶺 哲 氏)</p> <p>ウラン濃縮工場、再処理工場を始めとする原子燃料サイクル施設の概要および新規規制基準、安全審査の状況について紹介いただいた。</p> <p>4. 講演:「放射線核種分離に係る放射線科学研究」(JAEA:桶川 智洋 氏)</p> <p>放射線化学における放射線が引き起こす反応や原理、放射線核種分離に関連した放射線科学研究の現状を紹介いただいた。</p> <p>5. 講演:「地層処分-サイクル条件多様化における再処理の役目-」 (原環センター:朝野 英一 氏)</p> <p>ガラス固化体の地層処分についての基本的な考え、地層処分におけるリスクや低減にむけた検討について紹介いただいた。</p> <p>6. 講演「将来原子カシステムのための再処理技術」研究専門委員会における調査研究:再処理技術へのニーズ」(電中研:飯塚 政利 氏、三菱重工 島田 隆 氏)</p> <p>第8回までに実施した調査研究の結果である再処理の上流にあたる発電所、燃料製造や下流の MOX 燃料、金属燃料や廃棄物処分についてのニーズについて報告があった。</p> <p>7. グループ討論、発表(セミナー参加者全員)</p> <p>サイト見学、講演等を見聞きし感じたことを付箋に書き示し、グループ内で付箋のグルーピングなどを行い、グループ内で議論した結果や将来の原子燃料サイクルに向けた考えなどを発表した。</p>
備 考	

専門委員会開催報告(案)

専門委員会名	第8回「将来原子力システムのための再処理技術」研究専門委員会
開催日時	2019年5月24日(金)13:30～17:00
開催場所	三菱重工業株式会社 本社 25F 2510 会議室
参加人数	26名
議 事	<p>1. 幹事連絡及び主査挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配付資料の確認 ・ 次回委員会(再処理・リサイクル部会夏期セミナーとの合同開催)についての連絡 <p>2. 講演:「再処理施設に対する保障措置・核セキュリティ上の要求・課題」 (JAEA:堀 雅人 様)</p> <p>保障措置・核セキュリティの観点から、保障措置上の要求事項、再処理施設の保障措置の課題とニーズ、パイロプロセスの保障措置の取り組み、核セキュリティ上の要求事項等に関して講演いただいた。</p> <p>3. 講演:「廃棄物処分、R&Rの観点から再処理(分離変換)への期待」 (日本原子力学会フェロー:田辺 博三 様)</p> <p>廃棄物処分から分離変換への期待という観点から、直接処分、再処理後の処分、分離変換後の処分、一般の方々の考え、フランスの研究経緯、今後考慮すべきこと、将来世代へ伝えるべきこと等に関して講演いただいた。</p> <p>4. 講演:「MA入りPu金属燃料高速炉サイクルによる革新的核廃棄物燃焼システムの開発」 (東芝エネルギーシステムズ(株):有江 和夫 様)</p> <p>MA入りPu金属燃料高速炉に関して、研究概要、Uを含まないTRU金属燃料およびそれを用いる炉心、再処理技術、導入シナリオ、TRU燃焼量当たりのシステムコストの試算結果等に関して講演いただいた。</p> <p>5. 事務連絡等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱状発行の状況報告 <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	